

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-2	事務事業名 福祉会館運営費	所管部課 福祉部高齢者支援課
----------------	------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	地域の高齢者に対して各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上に寄与し、高齢者が健康で明るい生活を営めるようにする。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要（団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等）、補助金の概要（国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額）等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 健康増進のための健康体操教室、教養の向上のための高齢者大学や各種教室の開催、また、自主的なサークル活動の育成を実施している。 （予算事業名 03.01.06.01福祉会館運営費） （予算事業名 03.01.03.22高齢者生きがい推進事業費（高齢者生きがい推進事業管理委託料）） 都支出金（高齢社会対策区市町村包括補助事業費）	
事業開始時期	合併前	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(A)		103,957	115,768	115,265	123,366
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		17,315	16,194	16,924	32,227
地方債		0	0	0	0
その他（地域福祉基金繰入金）		2,000	5,000	5,000	8,000
一般財源		84,642	94,574	93,341	83,139
所要人員(B)	人	0.77	0.77	0.77	0.77
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,287	5,927	6,111	6,322
臨時職員賃金等(C')	千円	19,230	19,065	19,349	10,238
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	129,474	140,760	140,725	139,926
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (各種教室開催日数)	千円	145	154	156	

活動等指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
① 各種教室開催日数	実績値 日	894	914	900	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 福祉会館が行う事業の実施日数とする。					
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一次 受講者延べ人数	目標値				
	実績値 人	29,217	32,381	32,783	
二次 高齢者大学等の生きがい推進事業参加延べ人数	目標値				
	実績値 人	2,889	2,574	1,305	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 高齢者大学等の生きがい推進事業の参加人数のうち、平成25年度が大幅な減数になっているが、これは高齢者福祉大会の中止によるものである。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見（アンケート結果など）	高齢者保健福祉計画の策定に先立ち行ったアンケート調査の中で、「生きがい」に関し尋ねたところ、福祉会館等の充実及び生きがい活動の充実に関し高齢者からの期待が大きい。	
	都内26市のサービス水準との比較（平均値、本市の順位など）	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	福祉会館等の設置状況（平成24年度実績） 都内22市にある。場所・目的により種別（特A型・A型・B型）が分かれ、その実施事業が定められるため、比較はできない。（当市は、A型）
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	老人福祉センター、老人憩いの家

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	<p>福祉会館は、無料又は低額な料金で、老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することが目的となっている。</p> <p>今後も高齢者人口が増加の一途のため、利用者も増えるものと思われる。そのため、事業の継続は必要であるが、運営主体については、社会福祉法人等でも可能である。</p> <p>受益者負担については、施設の利用は原則無料となっているが、平成25年4月より市が提供していた茶業と浴室用石鹸の配置を廃止した。</p> <p>生きがい推進事業として行っている「健康体操教室」の参加申込が年々増加傾向にあり、それに伴う落選者も本年度は270人に達した。代替の事業がなく受け皿も決まっているため、今後は事業内容の見直しが必要となる。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	<p>高齢者人口が増加傾向にあることに加え、介護保険制度の改正や平成37年度までの地域包括ケアシステムの構築のために、今後は地域における介護予防の推進がこれまで以上に求められることとなる。また、「生きがい」に関する市民意識調査の結果からは、運動や教養関連の講座等、個人参加型の活動を志向する傾向が強いことが伺われる。これらの状況を踏まえると、地域の中で様々な生きがいづくり活動の機会を提供し、要支援者の居場所や生活支援サービスの提供の場ともなる福祉会館の重要性は、今後さらに強まっていくことが予想される。</p> <p>厳しい財政状況の中でこうした需要の増加に対応し、市民ニーズに応じていくためには、高齢者施策の今後の方向性を検討する中で、福祉会館に求められる機能や設備のあり方を再検証し、真に必要なサービスの優先順位を判断していく必要がある。</p> <p>また、事業の効率化を図るため、今後の施設の適正配置と併せて、事業委託や指定管理者の導入等も視野に入れた運営手法の見直しを検討するとともに、現状では無料となっている施設やサービスの利用についても、内容や対象に応じて一定の受益者負担の導入を検討するなど、財源の捻出にも努められたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
対象外	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
改善・見直し	<p>高齢者人口が増加傾向にある中で、利用者の増加も見込まれることから、効率的な事業運営に向けた改善努力は認められる。</p> <p>しかしながら、地域包括ケアシステムにおける介護予防の拠点として期待されるなか、健康体操教室の落選者が270人に達している状況は、更なる効果的な運営や事業の見直しが必要であることの表れである。</p> <p>今後は、事業目的や施設機能が類似する、老人福祉センター、老人憩いの家と併せて、指定管理者等民間活力の導入も視野に入れ、効率的で効果的な運営方法について、早急に検討されたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>施設の運営形態の見直しを検討する。</p> <p>平成27年度:地域包括ケアシステムの拠点として、新町福祉会館に機能訓練室を整備し、トレーニングマシンを導入する。</p> <p>また、運営体制の見直しについての方法等を具体的に検討する。</p> <p>平成28年度:運営体制の見直しについての検討結果を踏まえた準備行為を進める。</p> <p>平成29年度:新たな運営体制を実施する。</p>
---------------	---